



# 読書タイム

市内の学校・園・施設の  
子どもと読書をのぞいてみました



## 東中学校

東中学校の図書館は年々来館者が増えていきます。開館は昼休みだけですが、常時一〇〇人前後の生徒が来館しています。特に「図書館フェスティバル」を実施した期間中は、最高一五〇人が来館しました。図書館がたくさんの人に活用されていてうれしい限りです。

来館者を増やすため、東中は三つの取り組みをしています。

一つ目は図書購入アンケートです。

毎年一回全校アンケートをとり、希望する本を中心に購入を進めています。中でも「ハリー・ポッター」シリーズ、「ダレンシヤン」が大人気です。

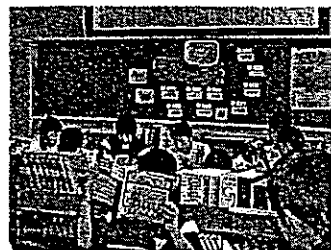


二つ目は「図書館フェスティバル」です。期間は一週間と決め、その間に来館した人は手作りのしおりがもらえます。また、期間中に来館者「ベスト五」のクラスには、希望する図書一冊

を朝読書用図書として入れることができます。こうした試みをした結果、最高一五〇人という成果を得ることができました。

三つ目は「朝読書」です。

毎日の朝の会前の十分間、全校でこの取組を行っています。この取組のためには朝読書用の図書を



入れ、いつでも本が手に取れるように配慮しました。この取組も今年で二年目になりますが、朝読書の時はこの学年も大変静かに読書ができています。

これからは学習センター、情報センターとして図書館が活用されるよう、生徒に身近な図書館をめざしたいと思っています。

- ① H18年9月末現在で、210125冊。市販一人あたり約3.9冊。
- ② 約68%の人が貸出カードをもっている。
- ③ 0才。お誕生日のその日からOK。



## サンサンルーム (サンサンルーム)

サンサンルームは、就園前の子どもと保護者のための施設です。たくさんの子どもたちが今日も遊びにやってきました。

毎週火曜日に「おはなしひろば」という、読み聞かせの時間をもうけています。大人気のおはなしキャラクター、くまの『くーちやん』が「おはなしはじまるよー。おもちゃかたづけしてねえ。」と、登場すると、あそび場はおはなしひろばに変身。おうちの人のひざの上に座ったり、前のほうにくっつきあったりしながら、おはなしの世界へみんなが入っていきます。

本は子どもの心を育ててくれる大切なものだというのを、小さな子どもたちのまっすぐに絵本を見つめる目が教えてくれます。最近、特に人気があったのは、「びよーん」(まっおかたつひで作)でした。自由に読める絵本も580冊くらいありますよ。

## 読書比べ

「本を読むほど面白いことはなう」

佐野 綾目

世の中には色々な楽しいことがあります。私も、何か手仕事をしながら、モーツァルトを聴くのが大好きです。

一日の内の昼間の時間

は、私は田畑へ行ったり、

家の為の掃除とか、おつかいとかもありますし、時には役の為に出かけなければならぬ事もあります。それぞれ私の大好きな時間で、それぞれの中に苦しい事も楽しい事もあるわけですが、一日の仕事を終えて、夜一人好きな本を読む時間が、私にとっては、どうしてもなくてはならない大切な時間なのです。

読みたい本は後から後から現われて私をせかせかせます。一つ一つに私は

感動し夢中で読みふけます。こんなにたくさん本を書いてくださる方がおられる事に感謝しています。

そして、それにもまして、本を読む楽しみを私に教えてくれた両親のもとに生まれ育った事に感謝せずにはおられません。

これから生きていく幼い人達も、一人でも多くの子が本を読む楽しみを知って成長してくれる事を願っています。

佐野さんは、地域のためのミニ図書館『伊深親子文庫』を昭和五十四年に始められました。現在は、美濃加茂市教育委員長としてお忙しい毎日を送っておられます。

なお、文庫では、伊深自治会館にて、毎週火曜日十五時から十七時まで、読み聞かせや本の貸し出しを行っています。